

Re-Design おおさか

【概要版】
大阪市DX戦略

DX戦略の体系



MISSION

大阪市の使命

大阪市におけるDXは、データやデジタル技術の活用を前提に、サービスの利用者の目線で、大阪市のまちや地域のあり方、サービスや行政のあり方を再デザインし、社会環境の変化にも的確に対応していくことにより、大阪市内で生活、経済活動を行う多様な人々がそれぞれの幸せ（Well-being）を実感できる都市へと成長・発展させることとし、大阪市のあらゆる行政分野・施策を対象として取り組んでいきます。このような大阪市ならではのDXを表現したものが

Re-Design おおさか であり、これからの私たちの合言葉です。

VISION

戦略の視点

VISION は、DXで実現したい未来やめざす姿を示しています。「サービスDX」、「都市・まちDX」、「行政DX」の3方向から取組を進め、市民のQoL（生活の質）の向上と都市力の向上をめざします。

サービスDX

利用者目線でデザインされた便利・快適な行政サービスのスピーディーな提供の実現

都市・まちDX

便利・安心・安全に暮らせる、魅力・活力のあるまちの実現

行政DX

効率的かつ質の高い組織・業務運営の実現



「未来の大阪市」の実現に向けての基本的な考え方

- 1 DXを常に意識することを忘れず**
単なるデジタル化を目的とせず、着実にDXを前進させていきます。
- 2 将来の労働力不足などに向けた備えを**
労働力不足や、将来起こりうるリスク・社会課題にも備えられる自治体組織への転換に向けてもDXを推進していきます。
- 3 制度や慣習も併せて変革**
これまでの制度や慣習にとらわれることなく、ルールの点検・見直しも進めていきます。
- 4 情報セキュリティの確保は根幹**
安全・安心かつ安定的な行政サービスを実現するために、情報セキュリティ対策をDXと同時に推進していきます。

実現したい未来・めざす姿

「VALUE」では、おおよそ2040年頃までに実現したい「未来の大阪市」を示しています。

サービス 01 の Re-Design

市民は、ほとんど手続きを行うことなく自動でサービスを受けられ、知りたい情報を受け取れる。24時間いつでもどこでも誰もがバーチャル市役所でサービスを受けられ、リアルな区役所はより利用者に寄り添った相談場所へと変わる。



にぎわい 04 の Re-Design

最先端と昔ながらの街並みが融合し、個性の光るまちは人々にぎわっている。バーチャルな大阪を旅行した人々がリアルな大阪に訪れ、更なるにぎわいをつくる。また、事業者も集まり、新たなビジネスが次々と生まれている。



あんしん 02 の Re-Design

デジタルでまちを把握することで、市民を見守り、災害等に備える。データをもとに、早期に課題を見つけ、よりよいをまちを作り上げる。バーチャル市役所は災害時におけるレジリエンスを高めている。



やさしさ 05 の Re-Design

誰もがデジタルの恩恵を受けて暮らしている。デジタル化社会の中でも、リアルなコミュニティのなかでも人々が助け合い、やさしさを感じながら暮らしている。また、デジタルの力も活用し、地球環境や自然環境へも配慮した持続可能な社会を実現している。



つながり 03 の Re-Design

産学民など多様な主体や人々をつなぎ、地域コミュニティが活性化し、幅広い様々な課題が解決され、まちが発展していく。



しごと 06 の Re-Design

ルール化された業務は自動化され、業務効率化が徹底されるとともに、部局横断的なデータ分析により課題をいち早く見つけ出し、率先して動いている。市民からの相談業務や新サービスの創出など職員だからこそその仕事に従事でき、市民のWell-being向上につながっている。



施策方針

「STRATEGY」では、「VALUE」の実現に向け、おおよそ2030年までの施策方針を示しています。

VALUE 01

01 「ええやん、大阪」。より便利な行政サービスへ

- デジタル技術の活用によるライフステージに応じた行政サービスのスタイルの変革
- デジタル行政手続きの拡大
- デジタルによるストレスを感じない窓口サービスの実現

02 「いつでもどこでも」。デジタルなコミュニケーションへ

- オンラインツールを活用した行政相談の充実
- パーソナライズされた情報の提供

VALUE 02

03 「大阪はあんしんや」。デジタルで支える強いまちづくりへ

- デジタルツインによる防災・減災対策
- AI・ビッグデータを活用した公共施設の機能維持・向上
- 情報インフラの耐災害性の向上

04 「大阪のことが見える」。まちのデータ化と活用へ

- ビッグデータを活用したまちづくりの推進
- IoTセンサー等を活用した安心できるまちづくり

VALUE 03

05 「コラボはおもしろい」。産学公民がデジタルで進める課題の解決を

- 産学民との連携とデジタル技術の活用による社会課題の解決

06 「まちが元気や」。地域コミュニティをデジタルでサポート

- リアルとデジタルでつなぐ地域コミュニケーションの充実
- 地域が主体となって進めるまちづくりをデジタルでサポート

VALUE 04

07 「好きやねんOSAKA」。魅力発信からファンづくりへ

- バーチャル技術を活用したまちの魅力発信
- ビッグデータ解析による回遊性向上

08 「ほな、大阪市でやる!」。様々な事業者が集まるまちへ

- 事業者に向けたデジタル行政手続きの拡大
- 中小企業のDX支援
- オープンデータの充実による事業者等でのデータ活用の推進

VALUE 05

09 「らしく暮らせばええ」。デジタルで支える社会へ

- 「誰一人取り残されない」デジタル化
- UI・UXの向上を始めとした誰もが分かりやすいサービスの提供

10 「SDGs、GXへ」。未来につながるDXを

- グリーンデジタルの推進による持続可能な社会への取組
- 脱炭素化のしくみを組み込んだ地域づくりの推進

VALUE 06

11 「相方はデジタル」。次世代のしごと・働き方へ

- 業務のデジタルシフト
- 自治体情報システムの標準化・共通化
- 庁内業務のプロセス最適化
- ノーコードツールを活用したシステムの内製化

12 「経験だけに頼ったらあかん」。データで裏打ちされたしごとへ

- 全庁的なデータ活用による効果的な施策の立案
- デジタルマーケティングによる施策の立案

00 「ええやん、DX」。全職員でDXを

- 全庁を挙げたDXの推進
- DXを推進する仕組みづくり

CREDO

CREDO では、DXを進めるうえで職員がとるべき行動や姿勢、持つべき共通の価値観を示しています。

行動姿勢

- ✓ 自ら学び、考え、チャレンジします
- ✓ すべての関係者、社会環境、自然環境に配慮します

行動指針

- ✓ 利用者中心でサービスをデザインします
- ✓ 目的を見失わず、デジタルを効果的に使います
- ✓ データの価値を最大限に活用します
- ✓ ビジョンをもってアジャイル手法で取り組みます

DX戦略の推進に向けて

2040年頃までに6つのVALUEを実現するため、おおよそ2030年までに12 + 1のSTRATEGYを実行していきます。また、大阪市のDXの推進状況、デジタル技術の進展や社会を取り巻く状況等を踏まえ、適宜、DX戦略の見直しを行っていきます。

2023

2030

2040

12 + 1のSTRATEGYの実行

VALUEの実現に向けての2030年までの施策方針

STRATEGY
の見直し

6つのVALUEの実現

DXで実現したい「未来の大阪市」

DX推進体制

DXは、本市のあらゆる行政分野・施策で進めていくものであることから、各々の事業を所管する各部局が主体となって取り組む必要があります。本市全体としてDXを推進する体制を構築します。



DX推進本部の設置

市長を本部長、副市長を副本部長、所属長を本部長とした「大阪市DX推進本部」を設置し、DXを総合的かつ強力に推進します。



外部有識者の参画

行政の視点のみではなく、専門的な知見に基づく助言を得ることにより、取組の有効性を高め、取組の推進力にもつなげます。



部局横断的なプロジェクト推進

全体最適をめざすため、必要に応じて、部局横断的なプロジェクトチーム等を設置し、取組を推進していきます。



各部局におけるDXの推進

各部局内にもプロジェクトチームを設置するなど、各所属長のマネジメントのもと取組を推進していきます。また、デジタル統括室は、全庁のDX推進の司令塔の役割を果たしていきます。



DX人材の育成・確保

高度なデジタルスキルを持つ人材の確保を進めるとともに、DXを積極的に推進またはけん引できるスキルを持った人材の育成を進めていきます。



情報セキュリティ体制の確保

最高情報セキュリティ責任者（CISO）をトップとした全庁的なセキュリティ体制の確保・強化を推進していきます。